

第八 財政經濟

當町は大阪市の南進と、歐洲戰亂當時好景氣時代に伴ふ大都市の市外發展とに伴ひ、急激なる戸數人口の増加を來したので、町の財政經濟も亦それに随つて突飛と見らる可き程度にまで膨脹せり、是れ當町の殷賑を示すものであつて、最近大正十三年度を以て、之を三十年前のそれに比較すると實に隔世の感ありとも言へる、嘗に日本國家の財政が急膨脹を來した比ではないのである。先づ明治三十年以降五ヶ年別の歳計を示すと次の如くである。

大正十二年度決算及十三年度豫算表

歳入出の別	經濟別	
	大正十二年度決算高	大正十三年度豫算高
一 般 經 濟 歳 入	六五二、九二二、〇〇六	九八六、七六九、〇〇〇
特 別 經 濟 歳 入	二一九、七五七、六四五	二二〇、〇一〇、〇〇〇
合 計	八七二、六七九、六五一	一、三〇六、七七九、〇〇〇
一 般 經 濟 歳 出 經 常 部	三九五、六八九、三三〇	四五三、〇二一、〇〇〇
同 臨 時 部	九五、五六五、三五〇	五三三、七四八、〇〇〇
特 別 經 濟 歳 出 經 常 部	一六六、五二九、五六〇	二一六、九九八、〇〇〇
同 臨 時 部	五二、五六九、二六〇	三、〇一二、〇〇〇
合 計	七一〇、三五三、五〇〇	一、二〇六、七七九、〇〇〇

大正十二年度歳入出差引殘次年度へ繰越高

一 般	一六一、六六七、三二六	一六二、三二六、一五一
特 別	六五八、八二五	

次に大正十二年度及十三年度の歳出入總決算を示すと左表の通りである。

大正十二、三年歳計

一 般 經 濟 歳 入 經 常 部

科 目	大正十二年度決算高	大正十三年度豫算高
財産より生ずる收入	二三六、七五〇	一三八、〇〇〇
使用料及手数料	六五、四一五、三六〇	七八、八八一、〇〇〇
國庫下渡金	二六、六四〇、一二〇	二〇、九六〇、〇〇〇
交 付 金	六、八九〇、五一〇	七、四六九、〇〇〇
納 付 金	三、六三一、四〇〇	四、五五〇、〇〇〇
府 補 助 金	四〇、〇〇〇	
郡 補 助 金	一、三九四、二六〇	一、七二〇、〇〇〇
寄 附 金	九三、三〇二、四六六	一六一、六六七、〇〇〇
雜 收	一二〇、〇〇〇、〇〇〇	一七三、〇〇〇、〇〇〇
町 入 債	二七、八九五、九一〇	三七、〇九七、〇〇〇
町 入 税	二九八、四七五、二三〇	三四〇、八八四、〇〇〇

繰入金

歳入合計 六五二、九二二、〇〇六

八三六、三六六、〇〇〇

備考 大正十三年度歳入決算は追加豫算の爲め拾五萬四百參圓を増し九拾八萬六千七百六拾九圓となれり

一般經濟歳出經常部

科	目	大正十二年度決算高	同十三年度豫算高
役場	役場費	八七、〇〇〇・九九〇	一〇四、四八七、〇〇〇
	會議費	一、二一七、〇四〇	一、二二七、〇〇〇
	土木費	二八、七六〇・四六〇	二七、七〇六、〇〇〇
	小學費	一八九、三七五・七七〇	二一一、〇三三、〇〇〇
	就學獎勵費	一、九七二・三八〇	一、三〇六、〇〇〇
	實業補習學校費	一、九七二・三八〇	一、七一〇、〇〇〇
	圖書館費	四、七〇六・四〇〇	五、二二〇、〇〇〇
	傳染病豫防費	四、九四七・八五〇	三、五六九、〇〇〇
	汚物掃除費	二二、七五八・一七〇	二二、八二一、〇〇〇
	衛生諸費	九二・一七〇	三、九四五、〇〇〇
	溝渠浚渫費		一、〇七三、〇〇〇
	清潔法施行費		三〇〇、〇〇〇
	トホトム豫防及治療費		二〇七、〇〇〇
	家畜傳染病豫防費	二六〇・五〇〇	

科	目	大正十二年度決算高	大正十三年度豫算高
公民病院費	公民病院費	一三、二六四・八五〇	四、三五九、〇〇〇
	屠場費	四、六六四・三一〇	一四、一四七、〇〇〇
	公設市場費		五、七八五、〇〇〇
	職業紹介所費		一、〇三一、〇〇〇
	勸業助費	三一七・一二〇	七九五、〇〇〇
	救助費	一、〇八一・五〇〇	一、四二一、〇〇〇
	警備費	一六、三六五・七三〇	一八、〇一四、〇〇〇
	地方改良費	七四二・三一〇	一、〇六五、〇〇〇
	獎學資金蓄積金	一四八・七五〇	五八、〇〇〇
	消防組員救済資金積立金		八、〇〇〇
	財產費	五、〇七八・七九〇	五、〇〇四、〇〇〇
	諸稅及負擔	五、八四三・一五〇	七、三八二、〇〇〇
	金庫取扱費	二六〇・〇〇〇	二四〇、〇〇〇
	雜支出	五、八三一・〇九〇	四、〇三三、〇〇〇
豫備費		四、〇〇〇、〇〇〇	
歳出經常部計	三九五、六八九・三三〇	四五三、〇二一、〇〇〇	
一般經濟歳出臨時部			
公債費	大正十二年度決算高 五六、五八四・九〇〇	大正十三年度豫算高 六五、四二四、〇〇〇	

十三年度豫算科目を公算科目とせり

土木	一、〇七二・六一〇	
汚物掃除費	一、八八八・〇五〇	
補助費	四、九〇〇・〇〇〇	八、五〇〇・〇〇〇
雜支	二二、〇八七・三七〇	
寄附金	五、一一五・〇〇〇	
役場	四〇四・五〇〇	
小學	二七〇・〇〇〇	一、八八五・〇〇〇
居場	四九二・九四〇	
役場管轄費本年度支出額	八五〇・〇〇〇	
公設市場管轄費	五八八・九八〇	
傳染病豫防費	一一、二〇〇・〇〇〇	
小學校管轄費の内本年度支出額	一一、四〇〇・〇〇〇	一一四、四九三・〇〇〇
奉祝費	一一一・〇〇〇	一、四〇〇・〇〇〇
警備費		五一、八三〇・〇〇〇
實費診療所設置費		二一、一五三・〇〇〇
職業紹介所設置費		一三、三〇〇・〇〇〇
公設市場増設費		九〇、三六六・〇〇〇
塵芥燒却場新設費		七九、一二〇・〇〇〇
第六小學校新管轄費の内本年度支出額		

二五〇

勸業費	四〇〇・〇〇〇	
雜支	五九、二七〇・〇〇〇	
寄附金	一一、一五〇・〇〇〇	
公會堂設置費	二〇、〇〇〇・〇〇〇	
公史編纂費	五、五〇〇・〇〇〇	
町會堂設置費	五三三、七四八・〇〇〇	
歲出臨時部計	九八六、七六九・〇〇〇	
歲出總計	四九一、二五四・六八〇	
科目の下空欄は當該年度に豫算の計上なきもの		
特別經濟歲入		
大正十二年度決算高	一三一、六五七・三三〇	大正十三年度豫算高
使用料及手数料	六五、二五一・二四〇	一六〇、四〇〇・〇〇〇
納付金	一、四六八・四八五	五九、三六〇・〇〇〇
繰越金	三八〇・五九〇	二〇〇・〇〇〇
雜收入	二一、〇〇〇・〇〇〇	五〇・〇〇〇
線入	二一九、七五七・六四五	二二〇、〇一〇・〇〇〇
歳入合計		

二五一

特別經濟歲出經常部

科	目	大正十二年度決算高	大正十三年度豫算高
事務	費	一一、八八〇・七五〇	一六、八七〇・〇〇〇
作業	費	五八、六〇八・一六〇	八四、二九〇・〇〇〇
給水	支出	九六、〇一九・〇七〇	一一三、四〇〇・〇〇〇
雜支	出	二一・五八〇	一〇〇・〇〇〇
水管	借費		三三八・〇〇〇
豫備	費		二、〇〇〇・〇〇〇
歲出經常部計		一六六、五二九・五六〇	二一六、九九八・〇〇〇

特別經濟歲出臨時部

科	目	大正十二年度決算高	大正十三年度豫算高
公債	費	一一、四七〇・八〇	三、〇一二・〇〇〇
水道	擴張費	三二、〇九九・一八〇	
雜支	出	九、〇〇〇・〇〇〇	
歲出臨時部計		五二、五六九・二六〇	三、〇一二・〇〇〇
歲出總計		二一九、〇九八・八二〇	二二、〇一〇・〇〇〇

科目の下の空欄は當該年度豫算の計上なきもの

更に明治三十年度より大正十三年度に至る歳計豫算を對照すると左の如くである。

歳計豫算比較對照表

豫算科目	歲出經常部		十三年度は決算を示す				
	明治三十年 年度	明治三十 五年 年度	明治四十 年度	大正元年 度	大正五年 度	大正十年 度	大正十三 年度
役場費	七四	一三三	三三三	六八五	〇〇〇・〇〇	六三三	一〇、一三〇
會議費	三三	一五三	一五六	三七	一六	一、六五五	一、〇〇九
土木費	一、一五三	一、九四四	一、一〇三	一、四一八	一、九四三	二、八八五	二、八、七七
小學校費	〇〇〇	七九	一、三三	七、三三七	一、六八五	三、四一三	一〇、八、一一
今宮實業補習學校費						一、七、〇〇	一、七、七一
圖書館費							三、三、三
衛生費		六	八六	七一			
傳染病豫防費							四、〇、七
汚物掃除費							二、六、八〇
溝渠浚渫費							二、九、八〇
清潔法施行費							三、八、五三
トラホーム豫防 及治療費							一、三、一一
家畜傳染病豫防費							三、五
屠場費							二、五三

項目	明治三十一年度	明治三十五年	明治四十年	大正元年	大正五年	大正十年	大正十三年
公民病院費							三、八一
公設市場費							五、三〇
職業紹介所費							五、六〇
勸業費							二、六一
救助費	二						一、一九
警備費	六	九三	七五	四四	一、七	八、四〇	一、九〇
地方改良費							一、五三
基本財産蓄積金			一、〇	五〇〇	一、一	二〇	三
獎學資金蓄積金							一、五三
校舍増築準備積立金							
財産費			五〇〇				
諸税及負擔	一、〇六	二、一七	六	七三	二、六	四、五八	七、三
公金取扱費							二、〇〇
民力涵養費							
雜支出			一〇	五〇	四〇	六、〇	三、一五
豫備費	五〇	二一〇	七	五〇〇	三、〇	三、一	三、〇〇
消防組員救済金積立金							
經常部計	三、九二〇	七、〇	九、三	二、四、六	五、〇、四	二、五七、六	四、八、七〇

歲出臨時部

豫算科目	明治三十一年度	明治三十五年	明治四十年	大正元年	大正五年	大正十年	大正十三年
組合債費	四、七					三、三	四、三
村債費							
公債費							
土木費			一、〇	一、〇	九、一	一、四	八、五〇
補助費							三、〇
御眞影奉戴費							三、〇
小學校費						一、七	五、一
役市場費							
家畜市場費							
教育費				三、			
屠場費							
雜支出				一、			
鷹芥焼却場營繕費							
基本財産造成費							
小學校營繕費の額							
本年度支出額							
第五小學校費							一、五

警備費	5,000	256
特別豫算繰入金	3,225	
實費診療所設置費	51,840	
職業紹介所設置費	10,940	
公設市場増設費	11,735	
第一尋常小學校費	64,960	
塵芥焼却場新設費	51,188	
奉祝費	1,348	
第六小學校新營費の内本年度支出額	74,440	
町史編纂費	5,499	
勸業費	333	
臨時部計	44	
歳出合計	4,433	7,064

右の表によれば歳出の經常臨時兩部合計に於て明治三十年より四十年に至る十年間に於ては四千四百圓代より徐々として一萬餘圓に自然増加を示したるに過ぎざりしも、其後の大正五年迄の十年間には約六倍強の六萬九千圓代に上るの急増加をして居るが、最後の大正十三年度に

至りては豫算計上額八拾九萬參千餘圓となり、決算に至ては實に九拾八萬六千餘圓といふ巨額に上り、全く十年前とは比較にもならぬ程度の大激増を示して居る。是れは戸口の激増と正比例した當然の趨嚮で敢て怪しむに足らないが、之れに特別會計の水道費二十二萬圓を加算すれば、正に百貳拾萬圓の大世帯で、人目を聳動するに足るものである。

大阪市南部に接續した新市街の經營としては、其繁盛を庶幾する上より云ふも、少なくとも大阪市と雁行したあらゆる文化的の諸設備を實現せしめる必要があり、茲に於て年々歳計臨時部の經費が經常部に比し敢て甲乙なき巨額を計上して小學校營繕費、實費診療所設置費、職業紹介所設置費、公設市場設置費、塵芥焼却場新設費其他の諸設備費となつて現れ、斯くして都市と其文化を對等的に享受せなければ止まぬに至つたのである。

尙大正十一年諸税賦課總額、町有資産概況、町政機關、警備、公共機關等に關する經費を擧示すれば左の通りである。

大正十一年、十二年諸税賦課總額調

税目	田租	畑租	宅地租	雜地租
國稅	3,600	2,586,600	10,640,300	3,600
稅額	2,000,000	2,500,000	10,640,300	3,600
計				
			11年度	14,573,600

今宮町志

起債の目的	負債		債	
	数量	價格	数量	價格
第四小學校建築費	二、六六〇	九八〇	九八九	六九一、九六九
同	七、一四二	九八〇	六九九	六九一、九六九
第五小學校建築費	一四四、六六六	九八〇	六九九	六九一、九六九
第三小學校建築費	一二〇、〇〇〇	九八〇	六九九	六九一、九六九
水道擴張費	一六、〇六〇	九八〇	六九九	六九一、九六九
公設市場建築費	三〇、〇〇〇	九八〇	六九九	六九一、九六九
同	一三、〇〇〇	九八〇	六九九	六九一、九六九
蕪芥焼却場設置費	一四、〇〇〇	九八〇	六九九	六九一、九六九
合計	四一七、五二八	九八〇	六九九	六九一、九六九

當町の土地

當町は明治三十年に其北端を大阪市に編入せられ、大正六年迄村制であつたが、同年九月より町制になつた。土地の廣袤は東西十六丁五十間、南北十九丁十五間であつて、地形は南端の東西皿池町と南北吉田町の玉出町へ突出したるものを除けば殆んど歪方形を爲してゐる一地域で、面積〇方里一九一四、反別二百六十四丁八反九畝、坪數七十九萬四千六百七十坪である。境界は東部一帯天王寺村即ち現今の住吉區に接し、西は舊津守村、南は玉出町、北は大阪市南區及浪速區に接してゐる。

左表に於て特に注目し價する點は、大正七年來年々畑地が減少して宅地が増加した事である、之が當町の發達を物語る唯一の事實である。次に大正七八年を劃して總反別に著増を來したのは、耕地整理の結果である。さうして其増加した坪數の殆んど九分通りは道路、溝渠及學校敷地の増加となつた譯である。

財政經濟

廣	積
東西 一六丁五〇間	〇、一九一四
南北 一九丁一五間	

地目	有租地		免租地		境界
	田畑		官公署		
	田	畑	官	公	
十三年	丁反畝 一、〇六六	二九、九三	二、三三坪	八、七六〇	東 東成郡天王寺村 西 西成郡津守村
十二年	丁反畝 一、七七一	二五、六四	二、三三坪	八、七六〇	南 西成郡天出町 北 大阪市
十一年	丁反畝 一、七七一	二八、〇〇	二、三三坪	八、七六〇	
十年	丁反畝 一、七七一	二四、一七	二、三三坪	八、七六〇	
九年	丁反畝 一、〇六六	二九、九三	二、三三坪	八、七六〇	
八年	丁反畝 一、〇六六	二九、九三	二、三三坪	八、七六〇	
七年	丁反畝 一、〇六六	二九、九三	二、三三坪	八、七六〇	

別	地		合 計
	水 道 用 地	雑 種 地	
反 坪 別	反 坪 別	反 坪 別	反 坪 別
四、四〇七	四、四〇七	四、四〇七	二、五、八八
四、四〇七	四、四〇七	四、四〇七	二、五、四一
四、四〇七	四、四〇七	四、四〇七	二、五、四一
四、四〇七	四、四〇七	四、四〇七	二、五、四一
四、四〇七	四、四〇七	四、四〇七	二、五、四一
四、四〇七	四、四〇七	四、四〇七	二、五、四一
四、四〇七	四、四〇七	四、四〇七	二、五、四一

大正九年に於て總反別に著増あるは耕地整理の結果なり